

日蓮大聖人御書全集

ときにゆうどうどのごへんじ

富城入道殿御返事

じゅうらせつしゅごこと

（十羅刹守護の事）

ときにゆうどうどのごへんじ じゅうらせつしゅゑ こと

富城入道殿御返事（十羅刹守護の事）

こうあん ねん がつ にち

弘安3年('80) 4月10日

59歳 さい ときじょうにん
富木常忍

がもくひとゆい た そうら お

鵝目一結、給び候い了わんぬ。

おんこころざし あ ほけきよう もう そうら お

御志は挙げて法華経に申し候い了わんぬ。定めて

じゅうらせつ おんみ しゅゑ うたが そうらう

十羅刹の御身を守護せんこと、疑いなく候か。さては尼

ごぜん おんこと そうらうよし もう つた たま そうら

御前の御事、おぼつかなく候由、申し伝えさせ給い候え。

きようきようきんげん

恐々謹言。

うづきとおか

卯月十日

ときにゆうどうどのごへんじ

富城入道殿御返事

にちれん かおう

日蓮 花押